

2016年度 第2四半期 決算説明会

- 2016年1月～6月 -

2016年8月12日

株式会社 **CAC Holdings**

- ・ 2016年度 上期決算概況
- ・ 2016年度 通期見通し
- ・ 当社グループの取組み

· 2016年度 上期決算概況

2016年度 上期 決算のポイント

【売上高】

- 金融向けの減少
- 医薬品開発支援サービス（医薬BTO）の伸長、Sierra Solutionsの新規連結により増収

【利益】

- Q1にて医薬BTOの回復があったものの、金融向けの減収などにより、営業利益は微増に留まる
- Accel Frontline Limitedの事業基盤改善費用（特別損失）の計上により、当期純利益は大幅減少

連結業績概要（2016年度上期・前期比）

単位：百万円

	2015年上期	2016年上期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	25,598	26,681	+1,082	+4.2%
売上総利益	4,608	5,290	+681	+14.8%
(対売上比)	18.0%	19.8%	+1.8pt	
販管費	4,158	4,756	+598	+14.4%
営業利益	450	533	+83	+18.6%
(対売上比)	1.8%	2.0%	+0.2pt	
営業外損益	13	144	158	—
経常利益	463	388	74	16.2%
(対売上比)	1.8%	1.5%	-0.4pt	
当期純利益	740	38	701	94.8%
(対売上比)	2.9%	0.1%	-2.7pt	

売上総利益

増収による増益

販管費

新規連結や一部子会社での費用項目の見直しなどにより前年比増。

営業外損益

円高ドル安進行のため、為替差損136百万円発生。

特別利益

投資有価証券売却益720百万円を計上。前年同期は投資有価証券売却益1,007百万円計上。

特別損失

関係会社事業損失602百万円計上。

サービス別売上高・営業利益（連結）

売上高

単位：百万円

	2015年上期		2016年上期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
構 築	11,555	45.1%	11,729	44.0%	+ 174	+1.5%
運用管理	8,965	35.0%	9,037	33.9%	+ 72	+0.8%
BPO/BTO	5,078	19.9%	5,913	22.1%	+ 835	+16.5%
合計	25,598	100.0%	26,681	100.0%	+ 1,082	+4.2%

営業利益

	2015年上期		2016年上期		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
構 築	503	4.4%	252	2.2%	250	49.7%
運用管理	24	—	89	1.0%	+ 114	—
BPO/BTO	28	—	191	3.2%	+ 219	—
合計	450	1.8%	533	2.0%	+ 83	+18.6%

業種別売上高（連結）

単位：百万円

	2015年上期		2016年上期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	4,114	16.1%	3,853	14.4%	260	6.3%
信託	2,204	8.6%	2,160	8.1%	44	2.0%
医薬	7,185	28.1%	8,820	33.1%	+1,634	+22.7%
食品	2,090	8.2%	1,902	7.1%	187	9.0%
製造	1,736	6.8%	1,525	5.7%	211	12.2%
サービス他	8,266	32.2%	8,418	31.6%	+151	+1.8%
合計	25,598	100.0%	26,681	100.0%	+1,082	+4.2%

受注高・受注残高状況（連結）

受注高

単位：百万円

	2015年上期	2016年上期	前年同期比	
			金額	増減率
構 築	12,233	10,853	1,379	11.3%
運用管理	9,087	8,899	188	2.1%
BPO・BTO	6,906	5,762	1,144	16.6%
金融	4,520	3,569	951	21.0%
信託	2,299	2,263	35	1.5%
医薬	9,151	7,802	1,348	14.7%
食品	2,522	1,982	539	21.4%
製造	1,468	1,525	+ 56	+3.8%
サービス他	8,265	8,371	+ 106	+1.3%
合 計	28,227	25,515	2,712	9.6%
受注残高	17,015	17,334	+ 318	+1.9%

連結業績概要（四半期推移）

単位：百万円

	2015年度				2016年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	13,341	12,257	12,760	13,746	13,632	13,048
売上総利益	2,490	2,117	2,406	2,775	2,710	2,580
(対売上比)	18.7%	17.3%	18.9%	20.2%	19.9%	19.8%
営業利益	431	18	433	325	433	100
(対売上比)	3.2%	0.2%	3.4%	2.4%	3.2%	0.8%
経常利益	362	101	340	276	304	84
(対売上比)	2.7%	0.8%	2.7%	2.0%	2.2%	0.6%
当期純利益	264	476	182	1,064	64	102
(対売上比)	2.0%	3.9%	1.4%	—	—	0.8%

AFLに関する損失について

損失額合計 2,652百万円

【2015年1月～12月】

- ・ 貸倒引当金等 661百万円（販管費）
- ・ 貸倒引当金等の関係会社事業損失 736百万円（特別損失）
- ・ AFLのれんの減損損失 653百万円（特別損失）

【2016年1月～6月】

- ・ 事業基盤改善費用（関係会社事業損失）
 - 第1四半期：本社対象 317百万円（特別損失）
 - 第2四半期：対象を支社、子会社に拡大 285百万円（特別損失）

合計

2,652百万円

再発防止策概要

企業買収プロセスの強化

国ごとに異なる法制度や税制、会計基準の相違などを十分に考慮した
デューデリジェンスの実施、適切なデューデリジェンス委託先の起用

買収後の統合プロセスの整備

事業や本社部門の実態を掌握する体制の整備
買収後デューデリジェンスなどの実施
買収企業の監査法人選定ポリシーの選定

海外子会社管理の強化

海外子会社管理を担当する専任組織の設置や外部専門家の利用などの検討
定期的な海外子会社の財務・法務などの実査
最低限遵守すべき会計処理上の手続き（ミニマムルール）の策定・適用
リスク管理、コンプライアンス、ガバナンスに関する教育・研修の整備
内部統制の強化、内部通報制度の整備等

Accel Frontline Limited 業績概要

単位：百万円

	2015年上期	2016年上期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	4,566	4,515	51	1.1%
売上総利益	669	585	83	12.5%
(対売上比)	14.7%	13.0%	-1.7pt	
販管費	649	624	25	3.9%
営業利益	20	38	58	—
(対売上比)	0.4%	—	—	
経常利益	178	225	46	—
(対売上比)	—	—	—	
特別損益	5	602	596	-
当期純利益	256	943	687	—
(対売上比)	—	—	—	

・ 2016年度 通期見通し

2016年度 通期見通し（連結）

単位：百万円

	2016年 上期実績	2015年 上期実績	16年 通期予想	15年 通期実績
売上高	26,681	25,598	56,000	52,105
営業利益 (対売上比)	533 2.0%	450 1.8%	2,250 4.0%	1,209 2.3%
経常利益 (対売上比)	388 1.5%	463 1.8%	2,000 3.6%	1,080 2.1%
当期純利益 (対売上比)	38 0.1%	740 2.9%	1,100 2.0%	142 -0.3%

2016年度 配当

中間配当20円を実施
(普通配当16円 + 記念配当4円)

期末配当20円を予定
(普通配当16円 + 記念配当4円)

配当性向は71.5%

・ 当社グループの取組み

CACグループ 50周年

お陰様で2016年8月8日、50周年を迎えました。



IT & ヘルスケアサービスで
世界を変える、未来を変える。

50周年を機に

【株主の皆様へ】
記念配当の実施

【社会の皆様へ】
障がい者スポーツ
「ボッチャ」への支援

新技術・新事業領域の獲得

【AI & ソーシャルロボティクス】

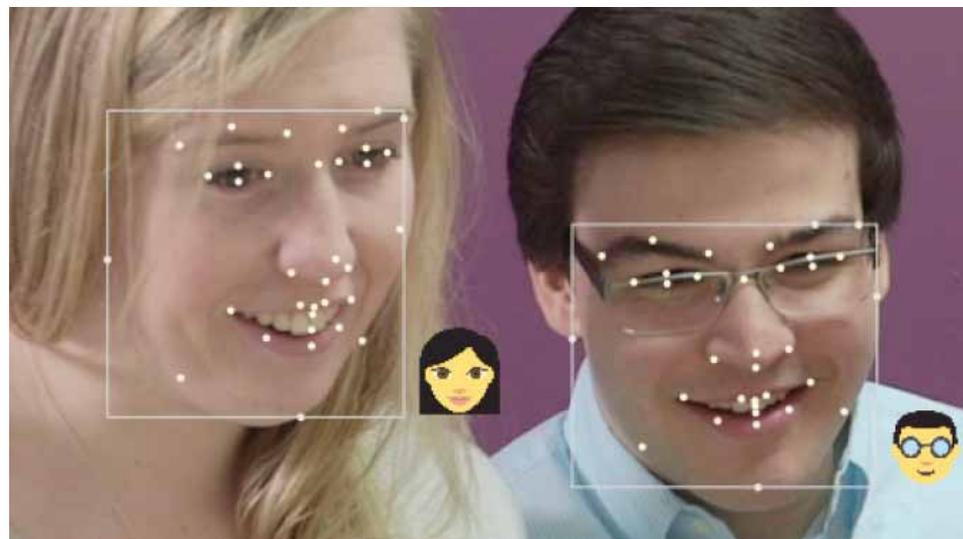
米Affectivaと提携、感情AI市場を開拓

- ・ 米Affectivaは、長年にわたり全世界で収集・蓄積した膨大な表情データに基づくディープラーニング技術を用いて、人間の感情を分析する感情AI分野のパイオニア&リーダー
- ・ シーエーシーは同社のチャネルパートナーとして、日本での感情AI市場の開拓を進める



広告、メディア、製造・小売等、幅広い業種に展開可能。

既に多くの顧客から高い関心を得ている。



新技術・新事業領域の獲得

【AI & ソーシャルロボティクス】

イノベーションスペースをオープン

- ・ (株)シーエーシーの本社1Fにオープン
- ・ CACグループ社員と社外パートナーとのコラボレーションによるオープンイノベーションを促進する場



新技術・新事業領域の獲得

【社会保障領域】

医療データのクラウドサービス提供会社を設立

- ・ 心電図解析事業を手掛ける岩手医科大学発のベンチャ 企業 モリーオ(株)と共同で、新会社「(株)エムハート」を4月に設立
- ・ 医療機関への心電図解析クラウドサービス提供を年内に開始予定

➡ 「予防医療の普及」に貢献するITサービスの提供

【参考】 上期主要ニュース(1/2)

2月15日	CAC、製薬企業向けSaaS型寄附金申請サイト提供サービスを開始 製薬企業の透明性強化に寄与するサービスとして、寄附金申請サイトを低コスト、短期間で構築することが可能なAcademic Support Naviを開発しました。
4月1日	CACクロア設立 CRO（医薬BTOサービス）を提供グループ会社のCACエクシケアとクリニカルトラストが合併し、CACクロアが誕生しました。両社の強み・リソースを統合させて、これまで以上にスピーディーかつ効率的に医薬品開発をサポートしてまいります。
4月18日	札幌のCRO会社がCACクロアに事業を譲渡 CACクロアは、札幌を拠点とする症例登録、治験薬割付業務および関連サービスを提供する株式会社アジャストの全事業を譲り受けました。これにより、ワンストップサービスとITソリューションの拡充・強化、札幌を足掛かりとするニアショア拠点、モニタリングや安全性管理業務などのサービス拠点拡大を目指します。
6月6日	イノベーションスペースをオープン ITを活用したオープンイノベーションの促進を目的にして、本社1Fスペースに、「イノベーションスペース」をオープンしました。当社グループでは、本スペースを有効活用し、AIやソーシャルロボティクスといった分野を皮切りに、新事業領域へのチャレンジに取り組んでまいります。

【参考】 上期主要ニュース(2/2)

6月13日	感情コンピューティング分野を主導する米国ベンチャー企業 Affectiva社に出資 顔画像分析などによる感情認識プラットフォームを開発するスタートアップ企業Affectiva, Inc. へ国内の感情コンピューティング(Affective Computing)市場の開拓およびソーシャルロボット事業での活用を目的に、約1億円の出資をしました。7月7日には、CACと国内初の販売代理店契約を締結、Affectiva社のサービスとソフトウェアの販売を開始しました。
6月14日	CAC、名刺『活用』スマートフォンアプリ「Meridio (メリディオ)」を無料で配信開始 Meridioは、組織内の名刺シェア機能を持ち、チームや組織の成果を最大化できるアプリです。また、1人で複数の仕事や役割を持つような新たな働き方に対応し、利用者の肩書(役割)ごとに区別して名刺情報を管理できます。
6月27日	CAC、フィンテック中核技術の「ブロックチェーン」業界団体へ加入 CACは、フィンテックの中核技術であるブロックチェーン技術の普及啓発、研究開発、関連投資の促進などを目的とした「ブロックチェーン推進協会」に加入しました。今後は、ブロックチェーン技術の普及を推進していくとともに、既存システムと共存しつつ妥当なシステム移行を図るブロックチェーンソリューションについて検討・推進していきます。
6月30日	CACグループ、日本ボッチャ協会のスペシャルパートナーに決定 50年間の成長を支えてくださった社会の皆様へ感謝の気持ちをお伝えする一つの形として、障がい者スポーツであるボッチャの普及・支援活動を展開してまいります。IT&ヘルスケアサービスを国内外で展開している当社グループの力を生かし、ITを活用した観戦環境整備などにも取り組めます。



株式会社 CAC Holdings

経営管理部 広報IR

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<http://www.cac-holdings.com/>

CACグループは、障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及・発展をお手伝いしています

